

一般選抜入試・共通テスト利用入試 併願について

合格のチャンスが増える併願方法

一般選抜入試・共通テスト利用入試で、おさえておきたい**4**つのPoint。

Point.1 複数日受験が可能。

■ 一般選抜入試(前期日程)(中期日程)は、試験日と学部・学科・課程・専攻を自由に選んで、複数日受験が可能。

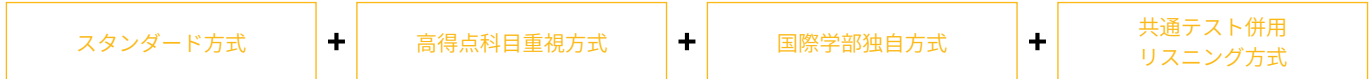
複数日受験例：一般選抜入試(前期日程) 3日間受験パターン

		1月29日	1月30日	1月31日
文系型	文学部 経済学部 経営学部 法学部 政策学部 国際学部 社会学部 農学部 (資源生物科学科、食料農業システム学科)	●	●	●
理工型	先端理工学部 ※1月31日は、一般選抜入試のうち共通テスト併用2科目方式のみ実施します。	●	●	○※
農学型	農学部 ※理科(物理)の選択は、1月29日、1月30日のみ可能です。	●	●	●

Point.2 一般選抜入試は、複数の入試方式や学部・学科・課程・専攻を組み合わせると1日に最大4併願、先端理工学部なら6併願が可能。

■ 志望する学部・学科・課程・専攻の合格を勝ち取りたい方(複数の入試方式で出願)。

例：国際学部 国際文化学科に4出願する。

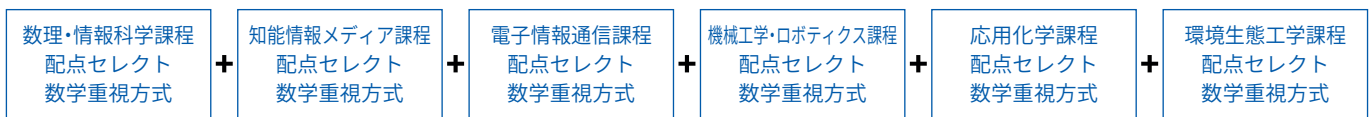


■ 複数の学部・学科・課程・専攻へ出願したい方(1つの入試方式で複数出願)。

例：社会科学系学部系に4出願する。

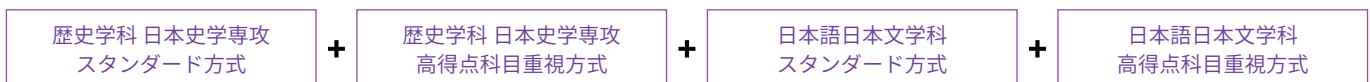


例：先端理工学部に6出願する。

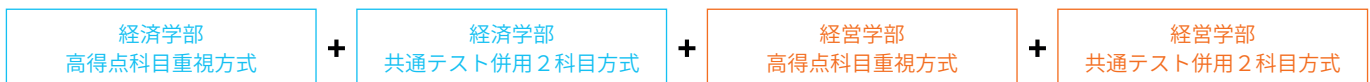


■ 複数の入試方式を組み合わせると複数の学部・学科・課程・専攻に出願。

例：文学部に4出願する。



例：文系学部系に4出願する。



Point.3 共通テスト利用入試は複数出願が可能(出願数上限なし)。

■ 学部・学科・課程・専攻が指定する教科・科目を受験していれば、いくつでも併願可能。

例：〔中期日程〕で文系学部に出願する。



Point.4 一般選抜入試と共通テスト利用入試を組み合わせる複数出願が可能。

■ 一般選抜入試は1日の試験で最大4併願(先端理工学部は6併願)、共通テスト利用入試は上限なく併願可能。

例：組み合わせを最大限に活用し出願する。



合否判定

公募推薦入試(2教科型)

- 各学部・学科・課程・専攻において、入試型・方式毎に合否を判定します。ただし、数理・情報科学課程に限り、理工型配点セレクト数学重視方式の受験数に1.1を乗じた数で募集人員を按分し、方式毎に合否を判定します。
- (1)スタンダード方式 受験者
指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、指定する教科・科目の合計点に、受験者の高等学校における学習成績(全体の学習成績の状況)の10倍(50点満点)を加算した総合点で合否を判定します。
- (2)英語資格試験利用方式 受験者
指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、指定する教科・科目の合計点に、英語資格検定試験のスコア(50点満点)を加算した総合点で合否を判定します。
- (3)2科目方式・高得点科目重視方式・配点セレクト数学重視方式・配点セレクト理科重視方式・国際学部独自方式 受験者
すべての試験科目を受験した者を対象とし、指定する教科・科目の合計点で合否を判定します。
※先端理工学部は、出願する課程により選択可能な科目に制限があります。不適切な科目を選択してしまうと、当該科目は欠席扱いとなり合否の判定対象となりません。
- 試験日間で有利・不利のないよう中央値補正法等による得点調整を行います。中央値は50点。

公募推薦入試(検定試験利用型)

文学部(仏教学科、歴史学科 仏教史学専攻、英語英米文学科)：指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。

公募推薦入試(英語型)

国際学部 国際文化学科：すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「英語によるプレゼンテーション」の合計点で合否を判定します。
国際学部 グローバルスタディーズ学科：すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語※」と「英語によるプレゼンテーション」の合計点で合否を判定します。
※英語資格検定試験の基準を満たす場合は、満点に換算(P.6参照)。

一般選抜入試(前期日程)(中期日程)(後期日程)

- 各学部・学科・課程・専攻において、入試型・方式毎に合否を判定します。ただし、数理・情報科学課程に限り、理工型配点セレクト数学重視方式の受験数に1.1を乗じた数で募集人員を按分し、方式毎に合否を判定します。
- (1)スタンダード方式・高得点科目重視方式・配点セレクト数学重視方式・配点セレクト理科重視方式 受験者
指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、方式毎に指定する教科・科目の総合点で合否を判定します。
- (2)国際学部独自方式・短期大学部(社会福祉学科)独自方式 受験者
指定するすべての試験科目を受験したものを対象とし、『「国語」と「選択科目」のどちらか高得点科目』と『英語』の2科目の総合点で合否を判定します。
- (3)短期大学部(こども教育学科)独自方式 受験者
指定するすべての試験科目を受験したものを対象とし、『「英語」と「選択科目」のどちらか高得点科目』と『国語』の2科目の総合点で合否を判定します。
- (4)共通テスト併用方式 受験者
大学入学共通テストの指定する教科・科目と、本学独自試験の指定する教科・科目を解答したものを対象に合否を判定します。
※指定する教科・科目のうち1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。
※先端理工学部は、出願する課程により選択可能な科目に制限があります。不適切な科目を選択してしまうと、当該科目は欠席扱いとなり合否の判定対象となりません。
- 本学独自試験の試験日や選択科目間で有利・不利のないよう、中央値補正法等による得点調整を行います。中央値は50点。

共通テスト利用入試(前期日程)(中期日程)(後期日程)

大学入学共通テストの指定する教科・科目を解答した者を対象に合否を判定します。指定する教科・科目のうち1科目でも受験していない場合は、合否の判定対象になりません。ただし、英語資格検定試験で一定以上の資格・スコアを有する者については、大学入学共通テストの「外国語」の「英語(リーディング・リスニング)」を解答したものとした上で、指定の得点に換算し合否を判定します。※2019年4月以降に受験した資格検定試験を有効とする。